

# 「道徳教育全体計画及び年間指導計画の改善について」

～諸計画改善のプロセスと校長及び道徳教育推進教師の役割について～

四万十市立中村南小学校

## 1. 「道徳教育全体計画」の改善について

### (1) 計画改善のねらい

- ◎ 新学習指導要領（平成21年度から施行）の趣旨や内容を生かした全体計画に改善することにより、学習指導要領に基づく道徳教育が具現化できる。
- ◎ 既存の全体計画の中での不備不足、現在の実態や取組にあわない内容を見直し、加筆修正することで、より現実的で活用できる（共通理解が図れる）全体計画になる。

### (2) 改善へのプロセスと道徳推進教師及び他の教職員のかかわり

時期	プロセス	道徳教育推進教師の働き	他の教職員の関わり
21年度 夏期 休業中	・校長から全体計画の改善の必要性について道徳推進教師に説明と依頼をする。	・校長の意向を踏まえ、改善に向けて心づもりをもつ。	
9月 以降	・既存の全体計画をもとに改善の箇所や加筆の必要な内容について管理職と道徳教育推進担当が協議し、共通理解を図る。 ・先進校の全体計画を参考に、計画の改善を図る。	・学習指導要領解説の該当箇所を参考に加筆修正が必要な内容を洗い出す。 ・既存の計画の中で、記述が不十分不適切な箇所を見つけ加筆修正をする。(メモ) ・先進校の計画の優れている内容や箇所を本校の実態や取組みに合わせて取り入れる。	・校内研修で、校長から全体計画の改善の取り組みを進める必要性やそのプロセスの説明を受ける。 ・管理職から資料提供や助言をする。 ・各担当教員に随時相談をしその内容を改善に役立てる。
3月	・道徳教育推進教師として、全体計画改善案(メモ)をまとめる。	・教育計画改善締切日にあわせ、新全体計画案(メモ)を完成させ、提出する。	・最終的に管理職が協議に関わり、案を完成させる。
22年度 4月 以降	・全体計画改善案(メモ)をもとに、計画の完成を図る。 ・完成した新全体計画案を研究企画委員会で提案する。	・道徳教育推進教師の交代に伴い、前現担当と管理職が連絡調整意見交換を進め完成させる。 ・完成した新全体計画を研究企画委員会でメンバーに提示する。	・研究企画委員会(*)のメンバーが提案された新全体計画案を検討し、意見や是非を伝える。
5月	・新全体計画完成	・教育計画原稿締切日にあわせ、新全体計画を完成し提出する。	
今後	・校内研究等の場で、教育計画集をもとに共通理解を図る。 ・教育実践活動を通して、更に改善が必要な箇所や内容をメモし、次年度に役立てる。	・校内研究等の場で新全体計画を説明し、今後の教育実践に活用していくことと、今後さらに改善を進めることを提起する。 ・自らの気づきと他の教職員の意見をもとに次年度に向けメモをし続ける。	・新全体計画の内容を知る。 ・今後教育実践に具現化しつつ更なる改善点を提起する。

\*平成22年度の本校の研究企画委員会の構成メンバーは、校長、教頭、研究主任、教務主任、授業改善・学力向上研究委員会及び児童理解・実践活動研究委員会のリーダー、道徳教育推進教師。

## 2. 「道徳の時間の年間指導計画」の改善について

## (1) 計画改善のねらい

- ◎ 新学習指導要領（平成21年度から施行）の趣旨や内容を生かした道徳の時間の年間指導計画に改善することにより、学習指導要領に基づく道徳授業が具現化できる。
- ◎ 週1時間年間35時間の「道徳の時間」をより意図的計画的に実施するとともに、より確かで、より効果的な道徳授業が展開できるよう、活用できる年間指導計画にする。

## (2) 改善へのプロセスと道徳推進教師及び他の教職員のかかわり

時期	プロセス	道徳教育推進教師の働き	他の教職員の関わり
20年度 2月	・新学習指導要領に応じた道徳の時間の年間指導計画の作成を提起する。	・校長の意向も踏まえ、校内研究等で計画作成の手順や様式等について説明する。	・道徳教育主任の提案を受け、各学年・学級担任が計画を作成する。
21年度 5月	・年間指導計画の完成。 ・次年度に向けて、「展開の概要」を入れた計画に改善するよう提起する。	・校長の意向も踏まえ、参考資料をもとに、校内研究で計画を改善（加筆）する手順を説明する。	・教育計画原稿締切日にあわせ、年間指導計画を完成し提出する。
6月	・校長が、再度、参考資料をもとに、計画改善の必要性や意義、手順を提起する。	・計画改善（修正）に関する教職員の疑問や質問をまとめる。	・校内研究の場で、管理職の説明や提起をもとに、質疑や意見を述べる。
7月 以降	・本校の道徳教育重点内容の見直しと指導時数の見直しを図る。	・各学期の終わりや休業中等、適時に、計画改善の取り組み手順や進捗状況を投げかける。 ・重点内容を決め、それに応じた指導時数になるよう計画改善を求める。	・授業実践をもとに、「展開の概要」を加筆する。 ・重点内容となった内容に資料（時数）を加える等、計画の修正を図る。
3月	・次年度の年間指導計画（展開の概要入）を完成する。		・教育計画改善締切日にあわせ、年間指導計画を完成させ、提出する。
22年度 4月 以降	・新年間指導計画に沿って、確実な授業実践を行う。 ・授業の準備や授業実践を通して、体験活動等他の教育活動との関連や心のノートの活用を追記していく。	・年度当初に新年間指導計画（展開の概要入）を各学年主任に配布する。 ・授業の事前研究や授業実践、授業後の反省をもとに計画に改善のメモを加えることや備考欄（他の教育活動との関連、心のノートの活用等）への記入の視点を提起する。	・新計画に沿って学級担任が自らの考えやアイデアも加えて実践する。 ・道徳教育推進教師の提起した視点をもとに、随時計画に修正メモや備考欄への記入を行う。
今後	・校内研究等や授業実践を通して、授業改善の研修を深め、授業の質的充実や年間指導計画の改善充実に生かしていく。 ・学校学年の内容の重点化、主題や資料の配列、差替等を学校全体あるいは各学年で再考し、次年度の計画改善を図る。	・校内研究等の場で、授業の質的充実、年間指導計画の改善と充実にリーダーシップを発揮する。 ・学校の教育活動全体や学校評価の結果及び校内研修委員会等の話し合いをもとに、指導内容の重点化や年間指導計画改善の視点を整理し、校内研修等の場で提起する。	・校内研修や日常の授業実践、道徳教育推進教師の提起をもとに、各学年毎に次年度に向けて年間計画の改善案を完成させる。